

名古屋西南ロータリークラブ Weekly Report

安江英雄会長年度テーマ

絆継続は力、協力は強さ力

例会場 名古屋クレストンホテル TEL 052-264-8000

例会日時 木曜日 12:30

クラブ会報広報委員長 二俣景一



2006-07 年度 R.I. 会長
ウィリアム B. ボイド

承認 1995.3.28

会長 安江英雄

幹事 後藤 敬

事務局 名古屋市中区栄 3-29-1

名古屋クレストンホテル 1007 号

TEL 052-263-1324

FAX 052-263-0730

Email seinan1@fancy.ocn.ne.jp

HP <http://rc.nagoya-seinan.org/>

第571回例会 No.31 平成19年3月8日(木) 晴

創立記念夜間家族例会
名古屋クレストンホテル 18:30~

- ロータリーソング 「奉仕の理想」
- 出席報告 会員49名中28名出席
- 出席率 62.22% 出席計算人数45名
- 修正出席率 2月22日 95.65%
- ゲスト 会員ご家族他 12名
- ビジター 京都RC 中山永次郎さん以下56名

「弦が奏でる情熱の泉へ」

Spring Quintet の皆さん



~~~ 創立記念例会 Menu ~~~

車海老のヴィスクと車海老のマリネ

京都鷹峯野菜とシーフードの冷製ポトフ - 仕立てにキャビア

バルサミコの酸味でさっぱりと

柔らかな新竹の子と鴨のフォアグラのソテー

田舎、トリュフ添え 甘酸っぱいソースで

バリバリに焼上げた黒ソイのボワレに高知はた産牛蒡のソテー

エストラゴン風味のバターソースで

ジャスミンのシャーベットに有機レモンのジュレ

特選黒毛和牛のグリルにカリフラワーのビュレと

プチジェラールのクロケット

とろとろプラマンジェに苦味の利いたチョコレートアイス

珈琲・ヴィスコッティー

パン

会長挨拶

安江英雄

12周年創立記念日に会員始め、ご家族の方々 多数参加され、誠に有り難うございます。日頃は会員皆様のロータリー活動に種々 ご協力賜り感謝致しております。私は会社で、よく旦那さんと言われております。今日はこのことについて、少しお話をさせていただきます。

これはサンスクリット語「DANA」を音訳したもので、「檀那」とも書きます。本来は「旦那」とは布施をする人という言葉だといわれています。「富んだ者は見返りを期待せずに(仏教関係者または貧困窮者へ)金品をおくる」という、まったくもって庶民にうれしい単語だったせいか、どんどん意味が広がっていきました。

史料での初見は平安中期ごろで仏教用語として、中国から渡って来たともいわれます。

又、武士の家来や商家の雇われ人が主人を敬ってという語、武士はともかく零細企業の社長を「旦那さん」ということは今でもあります。妻が、又は他家の夫を呼ぶ言葉としても使われています。英語でいう「パトロン」と同義語です。「パトロン」の語源も宗教がらみで「教会に寄付する人」が本来の意味だったそうです。「パトロン」に最も近い日本語は相撲の後援者でいわれる「タニマチ」でしょう。「タニマチ」は日本語で明治の末頃、大阪谷町筋の相撲好きの外科医が力士から治療代をとらなかったのが語源らしいです。これも信義の程はわかりません。いずれにしても、旦那さん、パトロンは布施をする人と理解しましょう。でも、私は布施をされることが好きで、布施をする人とは無縁のようです。 「大辞泉」より

## ニコBOX

● 創立12周年を祝して！

安江会長、中川、西垣、藤野、矢野、松尾、西川、渡邊、長谷川龍伸、吉田、森田、森、藤田(敬称略)

後藤幹事 久永シェフのお料理とクラシック音楽をお楽しみ下さい。

磯部さん 2月は全部休んでしまいました。申し訳ありません。

大平さん 創立12周年記念例会、大変おめでとうございます。益々の発展を祈念致します。

石井さん 昨日7日は私の誕生日でした。主人より毎年の事ながら大金をプレゼントしてもらいましたので今日は大勢で押しかけました。昭和32年に結婚して今年で50年、金婚式です。二人元気に祝えることを喜んでます。

● 春の健康感謝ニコニコ Day 藤田さん以下 9名

本日合計 55,000円

## 米山奨学生カウンセラー 感謝状贈呈

米山奨学生 呉燕さんの奨学期間が終了し、カウンセラーの森田正樹さんに感謝状が贈呈されました。



### ガバナー月信3月号より抜粋 「識字月間に寄せて」

3月は「識字率向上月間」です。

国際ロータリー2760 地区パストガバナー石川和昌

“意外に身近にあるテーマを掘り起こそう”

国際ロータリーは永年、識字率向上のプロジェクトを提唱、世界のあらゆる人が幸福に暮らす為には読み書きの能力が重要である事、また、地域の識字水準が生活水準に直結する事について我々ロータリアンが理解を深め、このテーマに参加するよう推奨してきた。然しながら日本の現状はこの問題を考える時、ともすれば遠い国の事で、地域社会で殊更取り上げるテーマではないと言うのが常であった。その為、世界社会奉仕の一部としての活動に留まっていたように思う。ところが意外に身近な所にこの問題があった。豊橋東 RC は昨年2月11日、創立10周年事業でこのテーマに沿った記念事業を打ち出した。クラブ創立の中村英彦特別代表の遺功を称え創設した「中村英彦記念青少年育成賞」の受賞者に外国人児童・生徒の教育問題に取り組む大学生 NPO「CSN 豊橋」を選んだ。このグループは豊橋技術科学大学の学生ら10数名の集まりで学業についていけない外国人児童の家庭教師や相談相手として手弁当でボランティア活動をしている。多くの外国人労働者の住む豊橋地区で、地域が一体となった青少年奉仕活動であると同時に身近な識字率向上運動実践のお手本でもある。

現在、人口38万人弱の豊橋市に日系ブラジル人を中心として1万8千人余の外国人1万6百世帯が登録されている。その殆どは物造り愛知を支える工場で働いている。そして安全な日本、働く職場のある日本への永住化希望者は年々増加傾向にある。

就学適齢児童数は約1千7百名、豊橋市内小中学校で受け入れている児童は9百余名、内、日本語指導が必要とされる児童は約6百余名、未就学児童が約8百名となっている。受け入れる公立小中学校では日常会話は何とかなっても学習についていく為の学力の修得までにはマンパワーが必要で地方行政での対応は予算、人員共に限界がある。

未就学児童はH17年が43.7%、H18年が46.7%と増加している。会話は出来ても勉強についていけない

ッアウトしてしまうようだ。

ちなみに全国ベースでは公立小中学校へ通う日本語指導が必要な児童数は約2万7百名、前年対比5.2%増、愛知県は3千620名と全国1位、内ポルトガル語を母国語とする児童数は2千159名となっている。(H18年5月8日付中日新聞)

最近、私自身こんな経験をした。時間は17時頃、新幹線を降り、駅通路を歩いていると片側半分は年の頃15・6歳位の外国人の少年達が10数名、通路を半分塞ぐ格好で地べたに座り込み、内数名がバック転やダンスに興じていた。耳にはピアス、母国語で大声で話す姿は立派な大人で、通行人はそれを避け片側を通行していた。行政も学校の授業が終り共働きの両親が帰宅するまでの時間差が問題だと言う。

安全で職がある日本への永住希望者は年々増えている半面、言葉も中途半端で生活習慣にも馴染めない子供達が増加すれば問題も増加する。

反面、出生率減少に悩む日本でこの子供達が日本の習慣と専門職業を身につけることが出来れば大きな力となり得る。

愛知大学卒業生 OG 2人が昨年「外国人青少年就労支援センター」を発足させた。(H18年4月21日付朝日新聞) ブラジル人社会に引きこもりがちな若者を同センターに誘い出し、日本語教育や職業訓練を通じ日本社会への掛け橋となる事を目指している。

中途半端なセミリンガル人間のままで教育からもドロップアウトした子供たちの行く末はどうなるのか。駅前をぶらついたたり、ゲームで時間をつぶしたり、悪への道は早い。行き場のない未就学児童や理解出来ないまま義務教育を受けても就職できずにいる子供達に対し共生への道を探る活動は尊い。

ロータリークラブも識字率向上の面でこの身近な問題に気付いて何らかの支援は出来ないだろうか。自ら出来なければこれに関わりを持つ RCC を支援すると言う手段もある。ローターアクト、インターアクトとの提携はどうか。資金面での工夫はないか。1995年版手続要覧第2部プログラム80~81ページをご覧ください。本年1月第1ゾーン識字率向上コーディネーター矢野亨 PG からこの問題でお手紙を頂戴したので、是非こういった問題を抱えた地域の RC に呼びかけて情報交換の場を作って欲しいと提言しておいた。これらの実例は何も豊橋に限った事ではない。愛知県下は製造業が盛んなだけに外国人労働者も特に多い。全国23万人と言われるブラジルなどからの日系外国人労働者は益々増加している。地域に奉仕するロータリーとして夫々の地域でまず実情を把握し、僅かな事でも良いので問題提起をし、奉仕活動に結びつける事が出来ればとの思いである。

\* 参照文献 中日新聞、朝日新聞、豊橋市教育委員会資料、同市企画部国際交流課資料

### 次回例会のご案内

3月22日(木) 第573例会

「PETS 報告」会長エレクト 渡邊徹雄さん

「カンボジア報告」国際奉仕委員長 水野裕善さん